

第一回事前学習 陸前高田：市庁舎も病院も流された！

日程：2021年5月22日

時間：14:00~16:00

参加方法：zoom参加（後日URLを公開致します。）

参加費：無料

登壇者 岩手県立高田病院副委員長：大木智春

NPOきらりんきっず：伊藤昌子

元NPO・HANDS:西原三佳

近畿大学：元ユニセフ：安田直忠

ファシリテーター 中村安秀（日本WHO協会）

名桜大学国際ボランティア研究会



2011年3月11日、陸前高田市は、市庁舎も病院も津波の直撃を受けました。被災前の人口24,246人に対し、1,757人（行方不明者も含む）が犠牲になったといわれています。（2014年陸前高田市東日本大震災検証報告書）。

私も含めて多くの国際ボランティアの経験者たちが、いてもたってもいられずに陸前高田市にかけつけました。そこには多くの出会いと学びがありました。災害時のボランティア活動とは、災害がなければお互いが知り合うこともなかったはずの貴重な協働の物語でもありました。

あのとき、何を思ったのですか？そして、いまは、何を感じていますか？今だからこそ、いえることが教えて欲しい。

10年前に世界が震撼した大きな地震と津波があったことを共に話しましょう！（日本WHO協会 中村安秀）

詳細に関する質問は、下記のメールアドレスまたは特設サイトまでお願い致します。

kyowa2021isvs@gmail.com

<https://kyowa2021isvs.wixsite.com/website-1>



TIME誌（2011年3月28日号）



陸前高田・箱根山まつり（2012年5月5日：こどもの日）